

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～
三代目 JSOUL BROTHERS 今市隆二です。

今この自粛期間はですね、自宅でリモートで楽曲制作をしたりとか、ピアノも弾くのでまた改めて一から勉強したり、あとはですね三代目メンバーとマネージャースタッフとリモートで会議をして、今後の活動だったりとか未来に向けて話し合いをしたりしています。

自分の学生時代どんな子だったかという、そうですね。漠然と何でも一番になりたいという気持ちを持っていた子で、だからすごく目立ちたがり屋な子だったと思います。勉強がね、めちゃくちゃ得意というわけではなかったんですけど、体を動かすことだったりとか、音楽をその時から好きだったので、総合体育大会でね、短距離の選手をやったりとか、体育祭でリレーの選手をやったりとか、合唱コンクールでピアノを弾いたりしていました。

自然と自分の好きなことを楽しんでいたり、自分の得意な部分を伸ばそうとしていたような気がします。

学生時代の思い出ってなんだろうなって振り返った時に、やはり学生時代、一番財産となったのは一生の友達に出会えたこと、一生の友達ができたことです。学生時代は、ほとんどがその中学生の時にできた友達といて、本当にいろんなことを楽しんだり遊んだり、たくさん笑ったり、本当に今振り返ると最高の学生生活を送っていたなと思っています。

なんかそういう時期の悩みごととかね、辛いこととかあったとしても、友達が常に周りにいてくれたので、なんかこんなことで悩んでいたんだとか、本当に悩みごととかも忘れてしまう、吹っ飛んじゃうぐらい周りがマイナスなものをプラスに変えてくれていたような気がします。

この歳になって思ったりもするし、だんだん大人になると、そういう友達というものに出会える機会が減るので、いかにその学生時代に出会えた友達が大切だったかというのを今すごく感じます。もちろん勉強も大事ですけど、学生時代に出会えた仲間、みんなを大切に、そして大事にしてほしいと思うし、絶対にその仲間が自分の人生を豊かにしてくれますので、その仲間を大切にしながら大事にしながら、学生生活を送ってください。

あとはですね、自分がみんなに伝えたいことは、みんなも自分もですね、人生は一度きりです。なので是非夢に向かって挑戦してみてください。夢の話をして誰かにすることってすごく恥ずかしい部分もあるし、そんなの叶うわけじゃないじゃんと言われてることの方が多いと思うけど、全く自分はそういう風に感じていなくて、努力すればする分、夢に近づけるし、もしその夢が叶っても叶わなくても必ずその夢に向かった時間というのはみんなにとって財産となります。これは必ず言えます。もし、自分の中にある夢を挑戦せずに終わってしまうのは、本当に自分としては一番怖いことだと思ってます。まだみんなは若いですし、言ってしまうとやり直しもきくと思うので、恐れずに 一歩踏み出していろんなことにチャレンジ精神を持って挑戦してほしいなというふうに思います。

まだまだ自分もたくさん夢があって、未熟ながら挑んでいます。挑戦しています。だから
ともに夢に向かって頑張っていきましょう。

自分は川崎の子ども達を応援しています。